

【概要】

住宅ローン利用者の実態調査

【住宅ローン利用予定者調査(2020年11月調査)】

I 調査の概要

今後5年以内に住宅を取得する計画があり、かつ、住宅ローンを利用する予定がある方を対象とし、希望する住宅ローンの金利タイプ、住宅取得に向けた意識や行動などについて調査を実施し、その結果をとりまとめたものです。

(参考) 調査実施時期：2020年11月1日～11月12日、回答数：1,573件

II 調査結果の主なポイント

〈〉は、本調査結果の詳細資料中の該当ページ

1 利用予定の金利タイプでは、「変動型」が増加、「固定期間選択型」が概ね横ばい、「全期間固定型」は減少 〈p.2〉

- ・「変動型」：37.4% (2020年5月調査32.3%)
- ・「固定期間選択型」：33.5% (同33.8%)
- ・「全期間固定型」：29.1% (同33.9%)

2 今後1年間の住宅ローン金利見通しについて「ほとんど変わらない」が増加、「現状よりも上昇する」、「現状よりも低下する」、「見当がつかない」は減少 〈p.3〉

〈今後1年間の住宅ローン金利見通しについて(全体)〉

- ・「現状よりも上昇する」：21.4% (2020年5月調査22.5%)
- ・「ほとんど変わらない」：44.0% (同36.3%)
- ・「現状よりも低下する」：13.7% (同19.0%)
- ・「見当がつかない」：20.9% (同22.1%)

3 住宅の買い時意識では、引き続き、「分からない」が約4割 〈p.5、p.6〉

〈今(今後1年程度)の住宅の買い時意識〉

- ・「分からない」：42.4% (2020年5月調査41.7%)
- ・「買い時だと思う」：37.9% (同34.9%)
- ・「買い時だと思わない」：19.7% (同23.3%)

〈買い時だと思う理由〉

- ・「住宅ローン金利が低水準だから」：76.8% (2020年5月調査69.8%)
- ・「税制のメリットが大きいから」：34.7% (同33.8%)
- ・「住宅価格が安くなったから」：29.4% (同31.5%)
- ・「住宅取得促進策が実施されているから」：15.9% (同17.9%)
- ・「金融緩和政策が継続しているから」：15.3% (同20.0%)
- ・「その他」：1.5% (同3.8%)